

取扱説明書

ご使用前に必ずお読みください！

この度はYAZAWAガソリンボトルをお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。

本製品を正しくお使い頂くために、この取扱説明書をよくお読みください。

また、この取扱説明書は読み終わりましても大切に保管していただき、必要に応じてお読み返してください。

1. 使用上のご注意

- 各容器の規定容量以上は絶対に入れないで下さい。
- ガソリン以外の使用はパッキン材劣化、キャップの変形の原因となりますので、使用しないで下さい。
- キャップの開閉時には、ねじ山に気をつけ斜めに入らないように十分注意してください。
- 給油の際、ノズルが確実に取り付けられている事を確認し、万が一、溢れても周囲が汚れたり人体に危険を及ぼさないよう十分注意してご使用して下さい。
- 給油の際、周りに火気が無い事を十分確認して下さい。火災の原因になります。
- ガソリンボトルから給油する場合、若しくはガソリンボトルへ注油する場合には、ガソリン缶ボトルを地面に降ろし、しっかりと接地した事を確認してから給油してください。（地面に接地しないまま給油しますと静電気の火花放電によりガソリン蒸気に着火する恐れがあるので大変危険です。）
- エンジン等が付いているものに給油するときは、引火する恐れがあるので、必ずエンジン停止、スイッチを切ってから給油して下さい。
- キャップを外すときは、ゆっくりと「開」方向に約半回転させ、ボトル内の圧力を調整してからキャップを取り外して下さい。キャップを一気に外しますと、ガソリンが噴出し大変危険です！
- 携帯して移動する場合には、必ずキャップを締めた後にボトルを少し振ってみてガソリンの漏れが無い事を確認してから携帯してください。
- キャップ、ノズルのパッキンが劣化したり、破損した場合には油漏れによる危険がありますので、部品を交換して下さい。
- 内容物の有無に関わらず、直射日光が当たる場所、火気の近くなど高温になる場所を避けた安全な場所で保管して下さい。変形や破裂、火災の原因となります。
- 雨や雪のあたる場所や湿気の多い場所を避けて保管してください。
- キャップを確実に締め、常に平らな場所に保管してください。
- 空の状態で長期間保管する場合にはキャップを少しゆるめて下さい。
- 長期間使用しなかった場合には、ガソリンボトル本体、各々の部品に劣化や破損が無いことを確認した後、使用して下さい。
- ガソリンボトル本体にサビ・劣化・破損、キャップ本体に破損・劣化がみられる場合には、直ちに使用を中止して下さい。
- 誤った使用方法、火災、地震、水害、その他天災地変、公害、塩害などによる故障や損傷についてはいかなる責任も負いかねます。
- ガソリンボトルはステンレスを使用しておりますが、使用環境 使用状況などにより購入後 1年ほどで錆や亀裂が発生する場合があります。給油する前にボトル内部を確認し、錆等発生している場合にはガソリンボトルの使用を中止して下さい。
- 使用状況によりボトル内部の圧力が大変高くなる場合がありますので、こまめに缶内部の圧力を調整してください。高温時に携帯した場合には注意して行ってください。

2. 給油の手順とご注意

- ①ボトルを給油口が上向きになるよう常に平らな地面に置いて下さい。
- ②携帯時に静電気が蓄積するので、給油する前に必ずボトルを地面に接地して下さい。
- ③上部キャップをゆっくりと「開」方向に約半回転し、缶内の圧力（ガス抜き）を調整してからキャップ全体を取り外して下さい。キャップを取り外す際に、ガソリンが少ししみ出る場合がありますので、身体、衣類、エンジン等にガソリンがかからないようにして下さい。
- ④給油ノズルを引き出し、反転させしっかりとネジを締めて下さい。ねじ込みが甘いとお給油途中でノズルが外れガソリンタンク内に落ちる場合がありますので、給油前に再度確認して下さい。
- ⑤確実にノズルを取り付けた事を確認後、ノズルを給油する方向に向け、缶をしっかりと持って給油して下さい。

3. 注油の手順とご注意

- ①ボトルを給油口が上向きになるよう常に平らな地面に置いて下さい。
- ②携帯時に静電気が蓄積するので、給油する前に必ずボトルを地面に接地して下さい。
- ③下部キャップ（大きい部分）をゆっくりと「開」方向に約半回転し、缶内の圧力（ガス抜き）を調整してからキャップ全体を取り外して下さい。キャップを取り外す際に、ガソリンが少ししみ出る場合がありますので、身体、衣類、エンジン等にガソリンがかからないようにして下さい。
- ④規定容量以上は絶対に入れないで下さい。口元までいっぱいに入れますとキャップを取り付ける際にガソリンが漏れることがあります。又、給油する際キャップを開けた時に、ガソリンが吹き出しますので大変危険です。
- ⑤注油完了後、ねじ山が斜めに入らないように注意してキャップ全体を取り付けてください。
- ⑥携帯して移動する前に、必ずガソリンの漏れが無い事を確認して下さい。

4. ガソリン保管上のご注意

- ガソリンは引火性（着火性）の高い危険物です。直射日光が当たる場所、火気の近くなど高温になる場所を避けた安全な場所で保管して下さい。
- 小出し分けなどして空気（酸素）に触れる機会が多いと、品質の変化が早まりますので、できるだけ一回に補給して下さい。
- ガソリンを長期間保管すると品質が変化することがあります。
- ガソリンの品質が変化すると燃料としての役割がなくなりますので、早めに使用して下さい。
- 携帯缶が空になったからと言って「裸火」は絶対に近づけないで下さい。
- 車・オートバイ等に搭載する場合には、ガソリンボトルをしっかりと固定して下さい。
- ご使用、保管はお子様の手が届かない場所で必ず行ってください。
- 収納袋に入れた状態で直接車両のぶら下げて移動及び、保管しないで下さい。収納袋は防水・防災ではございませんので、ガソリンの付いたボトルを収納する場合にはガソリンを拭き取ってから収納して下さい。

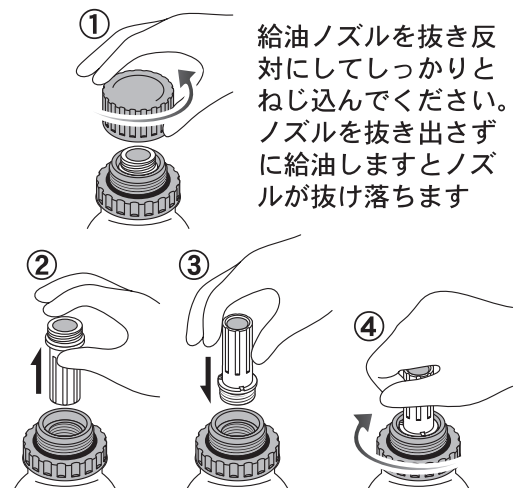
パーツ名称



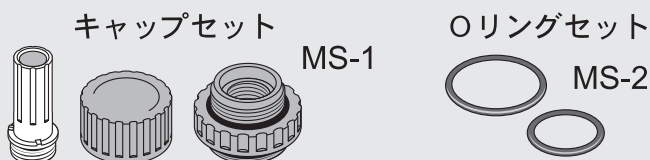
ガソリンを携帯する場合



車両へ給油する場合



ガソリンボトル取替部品



矢澤産業株式会社

〒399-3202 長野県下伊那郡豊丘村神稲9180
TEL.0265-35-7633 FAX.0265-35-7634